

第4回地域公共交通会議資料（今回）

パブリックコメント実施前（平成30年1月25日時点）

7. 計画の目標

半田市が目指す交通将来像の達成度を検証するため、地域公共交通の基本方針に基づき、4つの目標及び目標値を設定します。

交通将来像

「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」

半田市地域公共交通網形成計画の目標と目標値

全体目標 「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」の実現
 目標値 市内の鉄道・バス利用者数の増加及びタクシー利用件数の維持
 普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上

基本方針Ⅰ 半田市の一体性の強化及び観光施設・イベントを回遊できる公共交通ネットワークの再編

目標 公共交通が多様な目的で利用されます。
 目標値Ⅰ-1 普段の生活の中で公共交通を利用する人の割合の増加
 Ⅰ-2 観光企画切符の販売枚数

基本方針Ⅱ 半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実

目標 公共交通が中心拠点への来訪手段として利用されます。
 目標値 中心拠点内へ来訪する際に鉄道・バスを利用する人数の増加

基本方針Ⅲ 各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保

目標 地区路線が普段のおでかけで利用されます。
 目標値 公共交通で目的地に行くことができる割合の増加

基本方針Ⅳ 関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築

目標 公共交通への関心や愛着が高まります。
 目標値 地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数

7. 計画の目標

半田市が目指す交通将来像の達成度を検証するため、地域公共交通の基本方針に基づき、4つの目標及び目標値を設定します。

交通将来像

「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」

半田市地域公共交通網形成計画の目標と目標値

全体目標 「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」の実現
 目標値 市内の鉄道・バス利用者数の増加
 普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上

基本方針Ⅰ 半田市の一体性の強化及び観光施設・イベントを回遊できる公共交通ネットワークの再編

目標 公共交通が多様な目的で利用されます。
 目標値Ⅰ-1 普段の生活の中で公共交通を利用する人の割合の増加
 Ⅰ-2 観光企画切符の販売枚数

基本方針Ⅱ 半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実

目標 公共交通が中心拠点への来訪手段として利用されます。
 目標値 中心拠点内へ来訪する際に鉄道・バスを利用する人数の増加

基本方針Ⅲ 各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保

目標 地区路線が普段のおでかけで利用されます。
 目標値 公共交通で目的地に行くことができる割合の増加

基本方針Ⅳ 関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築

目標 公共交通への関心や愛着が高まります。
 目標値 地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数

半田市地域公共交通網形成計画（案）【第4回地域公共交通会議資料とパブリックコメント実施前資料の比較】

第4回地域公共交通会議資料（今回）

表 目標値の設定[総括表]

計画全体の目標値	市内の鉄道・バス利用者数の増加			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	市内の鉄道利用者数	42,000人/日	39,000人/日	
	市内のバス利用者数	2,700人/日	1,100人/日	
	市内のタクシー利用件数の維持			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	市内のタクシー利用件数	1,500件/日	1,500件/日	
基本方針Ⅰの目標値Ⅰ-1	普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	公共交通利用者の満足度	30%以上	17%	
基本方針Ⅰの目標値Ⅰ-2	普段の生活の中で公共交通を利用する人の割合の増加			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	駅に行く際に公共交通を利用する人の割合	10%以上	5%	
	病院・買物・公的機関等に行く際に公共交通を利用する人の割合	10%以上	7%	
基本方針Ⅱの目標値	観光企画切符の販売枚数			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	観光企画切符の販売枚数	800枚/年	—	
基本方針Ⅱの目標値	中心拠点内へ来訪する際に鉄道・バスを利用する人数の増加			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	中心拠点内の鉄道利用者数	16,000人/日	15,000人/日	
	中心拠点内のバス利用者数	1,000人/日	400人/日	
基本方針Ⅲの目標値	公共交通で目的地に行くことができる割合の増加			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	公共交通で目的地に行くことができる割合	市平均	67%	半田中学校区 49%
				乙川中学校区 50%
				亀崎中学校区 54%
			成岩中学校区 53%	
			青山中学校区 52%	
		市平均 51%		
基本方針Ⅳの目標値	地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数	年間5件以上	—	

パブリックコメント実施前（平成30年1月25日時点）

表 目標値の設定[総括表]

計画全体の目標値	市内の鉄道・バス利用者数の増加			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	市内の鉄道利用者数	42,000人/日	39,000人/日	
	市内のバス利用者数	2,700人/日	1,100人/日	
基本方針Ⅰの目標値Ⅰ-1	普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	公共交通利用者の満足度	30%以上	17%	
基本方針Ⅰの目標値Ⅰ-2	普段の生活の中で公共交通を利用する人の割合の増加			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	駅に行く際に公共交通を利用する人の割合	10%以上	5%	
	病院・買物・公的機関等に行く際に公共交通を利用する人の割合	10%以上	7%	
基本方針Ⅱの目標値	観光企画切符の販売枚数			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	観光企画切符の販売枚数	800枚/年	—	
基本方針Ⅱの目標値	中心拠点内へ来訪する際に鉄道・バスを利用する人数の増加			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	中心拠点内の鉄道利用者数	16,000人/日	15,000人/日	
	中心拠点内のバス利用者数	1,000人/日	400人/日	
基本方針Ⅲの目標値	公共交通で目的地に行くことができる割合の増加			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	公共交通で目的地に行くことができる割合	市平均	67%	半田中学校区 49%
				乙川中学校区 50%
				亀崎中学校区 54%
			成岩中学校区 53%	
			青山中学校区 52%	
		市平均 51%		
基本方針Ⅳの目標値	地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数			
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	
	地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数	年間5件以上	—	

半田市地域公共交通網形成計画（案）【第4回地域公共交通会議資料とパブリックコメント実施前資料の比較】

第4回地域公共交通会議資料（今回）

パブリックコメント実施前（平成30年1月25日時点）

表 目標値の設定根拠[計画全体(1/3)]

交通将来像	「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」	
全体目標	「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」の実現	
目標値	市内の鉄道・バス利用者数の増加	
	目標とする指標	目標値[H34] 現況値[H28]
	市内の鉄道利用者数	42,000人/日 39,000人/日
	市内のバス利用者数	2,700人/日 1,100人/日
*現況値の鉄道利用者数は推計値、バス利用者数は実績値		
市内のタクシー利用件数の維持		
目標とする指標	目標値[H34] 現況値[H28]	
市内のタクシー利用件数	1,500件/日 1,500件/日	
普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上		
目標とする指標	目標値[H34] 現況値[H28]	
公共交通利用者の満足度	30%以上 17%	
現況値及び目標値の設定根拠	市内の鉄道利用者数	
	・「H29 知多半島の統計」より、市内鉄道駅日平均利用者数の推移から現況値（H28）約 39,000 人/日、目標値約 42,000 人/日を推計（半田口駅は非公表のため含んでいない。）	
		
市内のバス利用者数		
・「バス乗降調査（H28 年度実施）」より、市内バス停利用者数の現況値（H28）は約 1,000 人/日		

表 目標値の設定根拠[計画全体(1/3)]

交通将来像	「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」	
全体目標	「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」の実現	
目標値	市内の鉄道・バス利用者数の増加	
	目標とする指標	目標値[H34] 現況値[H28]
	市内の鉄道利用者数	42,000人/日 39,000人/日
	市内のバス利用者数	2,700人/日 1,100人/日
*現況値の鉄道利用者数は推計値、バス利用者数は実績値		
普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上		
目標とする指標	目標値[H34] 現況値[H28]	
公共交通利用者の満足度	30%以上 17%	
現況値及び目標値の設定根拠	市内の鉄道利用者数	
	・「H29 知多半島の統計」より、市内鉄道駅日平均利用者数の推移から現況値（H28）約 39,000 人/日、目標値約 42,000 人/日を推計（半田口駅は非公表のため含んでいない。）	
		
市内のバス利用者数		
・「バス乗降調査（H28 年度実施）」より、市内バス停利用者数の現況値（H28）は約 1,000 人/日		

第4回地域公共交通会議資料（今回）

パブリックコメント実施前（平成30年1月25日時点）

現況値及び
目標値の
設定根拠

表 目標値の設定根拠[計画全体(3/3)]

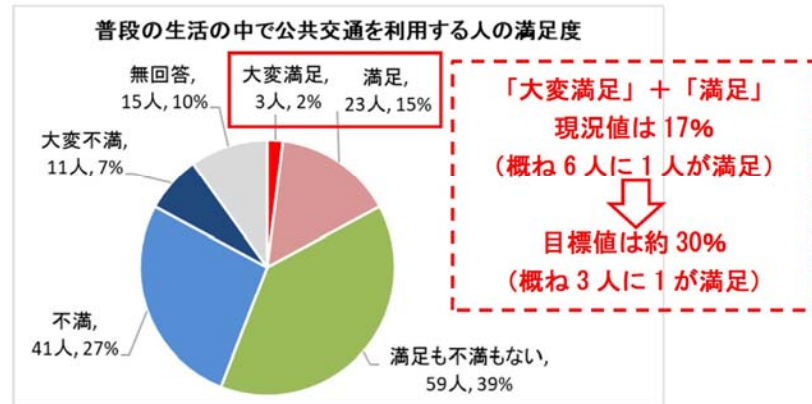
- ・日本福祉大学の調査結果より、知多半田駅経由のスクールバスを利用する学生は約200人である。
- ・この約200人のうち、受講状況を考慮すると開校日（年間約180日）における1日当たりのスクールバス利用者数は約130人/日である。
- ・鉄道及び路線バスの指標との整合を図るため、休校日も含む365日における1日当たりのスクールバス利用者数を試算する。
130人/日×180日÷365日×2（往復利用を想定）≒約100人/日
- ・これらより、市内のバス利用者数は、現況値（H28）約1,100人/日、目標値（H34）約2,700人/日となる

タクシー利用件数

- ・タクシー事業者（名鉄知多タクシー、安全タクシー）提供データより、市内タクシー利用件数（乗降合計）の現況値（H28）は約1,500件/日、よって、目標年度（H34）は約1,500件/日と設定

普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度

- ・「半田市民の公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査（平成28年度実施）」より、公共交通利用者が普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度は下図に示すとおり
- ・現況（H28）の満足度は、大変満足2%+満足15%=17%となり、「概ね6人に1人が満足」している
- ・現状の「概ね6人に1人が満足」を目標では「概ね3人に1人が満足」まで高めると設定した場合の目標値は約30%となる



* アンケート回答者数 1,223 人のうち当該設問での公共交通利用者数は 152 人
参考：東浦町地域公共交通網形成計画における満足度設定
住民の公共交通機関への満足度は現状 34.6%⇒目標 40.6%
町運行バス「う・ら・ら」の満足度は現状 21.8%⇒目標 33.3%

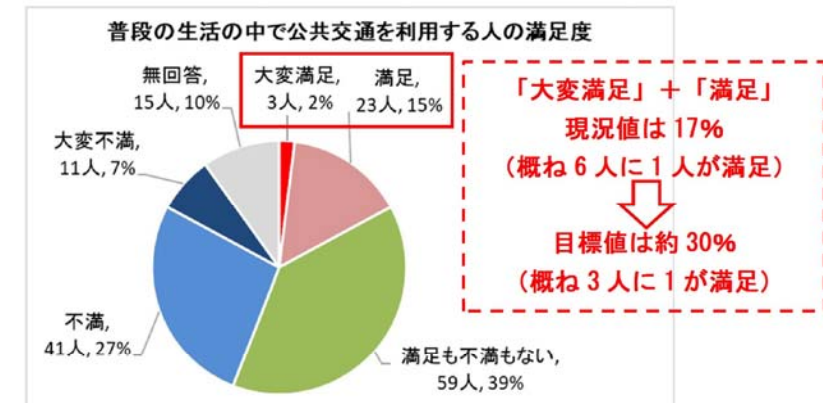
現況値及び
目標値の
設定根拠

表 目標値の設定根拠[計画全体(3/3)]

- ・日本福祉大学の調査結果より、知多半田駅経由のスクールバスを利用する学生は約200人である。
- ・この約200人のうち、受講状況を考慮すると開校日（年間約180日）における1日当たりのスクールバス利用者数は約130人/日である。
- ・鉄道及び路線バスの指標との整合を図るため、休校日も含む365日における1日当たりのスクールバス利用者数を試算する。
130人/日×180日÷365日×2（往復利用を想定）≒約100人/日
- ・これらより、市内のバス利用者数は、現況値（H28）約1,100人/日、目標値（H34）約2,700人/日となる

普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度

- ・「半田市民の公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査（平成28年度実施）」より、公共交通利用者が普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度は下図に示すとおり
- ・現況（H28）の満足度は、大変満足2%+満足15%=17%となり、「概ね6人に1人が満足」している
- ・現状の「概ね6人に1人が満足」を目標では「概ね3人に1人が満足」まで高めると設定した場合の目標値は約30%となる



* アンケート回答者数 1,223 人のうち当該設問での公共交通利用者数は 152 人
参考：東浦町地域公共交通網形成計画における満足度設定
住民の公共交通機関への満足度は現状 34.6%⇒目標 40.6%
町運行バス「う・ら・ら」の満足度は現状 21.8%⇒目標 33.3%

第4回地域公共交通会議資料（今回）

パブリックコメント実施前（平成30年1月25日時点）

(3) 公共交通の利用促進施策

市民から地域の公共交通として愛され、親しまれるとともに、利用が楽しく、次も利用したくなる環境づくりを進めるため、地域公共交通に関わる全ての関係者が協働で各種利用促進施策を実施していきます。

1. 利用者目線の利用しやすい環境整備・情報提供

① 利用しやすいバス車両の導入

具体的な取り組み	実施主体
・バス車両のバリアフリー化の推進（車椅子対応、ワンステップバス等） ・低公害型車両の導入	半田市 交通事業者

【取組事例：マイクロバスによる運行（愛知県碧南市）】

- ・碧南市の“くるくるバス”では、車椅子対応リフト付きマイクロバスを導入



② 公共交通利用に係る積極的な情報提供

具体的な取り組み	実施主体
・総合交通マップやポケット時刻表等の作成	半田市 交通事業者

【取組事例：公共交通を網羅したマップ（岐阜県各務原市）】

- ・公共交通を網羅した公共交通マップを作成
- ・マップ上には、乗継拠点、乗り入れ路線を表記



資料：各務原市ホームページ

(3) 公共交通の利用促進施策

地域の公共交通として愛され、親しまれるとともに、利用が楽しく、次も利用したくなる環境づくりを進めるため、交通事業者や半田市とともに、市民、自治会、各種団体等の地域公共交通に関わる全ての関係者が協働で各種利用促進施策を実施していきます。

1. 利用者目線の利用しやすい環境整備・情報提供

① 利用しやすいバス車両の導入

具体的な取り組み	実施主体
・バス車両のバリアフリー化の推進（車椅子対応、ワンステップバス等） ・低公害型車両の導入	半田市 交通事業者

【取組事例：マイクロバスによる運行（愛知県碧南市）】

- ・碧南市の“くるくるバス”では、車椅子対応リフト付きマイクロバスを導入



② 公共交通利用に係る積極的な情報提供

具体的な取り組み	実施主体
・総合交通マップやポケット時刻表等の作成	半田市 交通事業者

【取組事例：公共交通を網羅したマップ（岐阜県各務原市）】

- ・公共交通を網羅した公共交通マップを作成
- ・マップ上には、乗継拠点、乗り入れ路線を表記



資料：各務原市ホームページ

第4回地域公共交通会議資料（今回）

パブリックコメント実施前（平成30年1月25日時点）

2. 公共交通への利用転換

① 企画切符の導入

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 観光施設と連携した企画切符の導入 商業施設と連携した企画切符の導入 1日乗車券の導入 	関係団体 半田市 交通事業者

【取組事例：いいかも！半田キャンペーン（名古屋鉄道）】

- 名古屋鉄道は半田市と協力してキャンペーンを実施
- 地元でのランチや赤レンガ建物の入場券と名鉄電車の往復乗車券がセットになった切符等を発行

資料：名古屋鉄道ホームページ、半田市観光協会ホームページ



【取組事例：夏休み小学生50円バス（豊鉄バス、名鉄バス東部、夏休み小学生50円バス実行委員会）】

- 小学生の夏休み期間中に、バス利用のきっかけづくりとして、路線バス事業者と東三河8市町村が連携してバスのこども運賃を1乗車50円にする取り組みを実施

資料：豊橋市ホームページ



② 免許返納者に対する公共交通利用の特典

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 免許返納者に対する公共交通利用の特典 	半田市 半田警察署

【取組事例：免許返納者に対する取り組み（愛知県東浦町）】

- 満65歳以上の運転免許自主返納者に対し、東浦町運行バス「う・ら・ら」の利用券（回数券または定期券から1つ）と公共交通利用券（共通タクシー券や交通系ICカード等から1つ）の支援を実施



資料：東浦町ホームページ

2. 公共交通への利用転換

① 企画切符の導入

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 観光施設と連携した企画切符の導入 商業施設と連携した企画切符の導入 1日乗車券の導入 	関係団体 半田市 交通事業者

【取組事例：いいかも！半田キャンペーン（名古屋鉄道）】

- 名古屋鉄道は半田市と協力してキャンペーンを実施
- 地元でのランチや赤レンガ建物の入場券と名鉄電車の往復乗車券がセットになった切符等を発行

資料：名古屋鉄道ホームページ、半田市観光協会ホームページ



【取組事例：夏休み小学生50円バス（豊鉄バス、名鉄バス東部、夏休み小学生50円バス実行委員会）】

- 小学生の夏休み期間中に、バス利用のきっかけづくりとして、路線バス事業者と東三河8市町村が連携してバスのこども運賃を1乗車50円にする取り組みを実施

資料：豊橋市ホームページ



② 免許返納者に対する公共交通利用の特典

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 免許返納者に対する公共交通利用の特典 	半田市 公安協議会

【取組事例：免許返納者に対する取り組み（愛知県東浦町）】

- 満65歳以上の運転免許自主返納者に対し、東浦町運行バス「う・ら・ら」の利用券（回数券または定期券から1つ）と公共交通利用券（共通タクシー券や交通系ICカード等から1つ）の支援を実施



資料：東浦町ホームページ

第4回地域公共交通会議資料（今回）

（2）評価における目標値

評価の考え方及び評価・検証スケジュールに基づき、本計画の目標及び目標値を用いて評価を実施します。なお、各バス路線の運行・利用状況の評価にあたっては、運行内容が確定した後、路線ごとの目標値を設定します。

表 目標及び目標値と評価スケジュールの関係性

基本方針	目標	目標値	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
【交通将来像】 「おでかけ環境が充実した住み続けたいまち半田」	【全体目標】 「おでかけ環境が充実した住み続けたいまち半田」の実現	【目標値】 市内の鉄道・バス利用者数の増加	◎	◎	◎	◎	◎
		市内のタクシー利用件数の維持	◎	◎	◎	◎	◎
		普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上	—	—	○	—	◎
【基本方針Ⅰ】 半田市の一体性の強化及び観光資源を回遊できる公共交通ネットワークの再編	【目標】 公共交通が多様な目的で利用されます。	【目標値Ⅰ-1】 普段の生活の中で公共交通利用を利用する人の割合の増加	—	—	○	—	◎
		【目標値Ⅰ-2】 観光企画切符の販売枚数	◎	◎	◎	◎	◎
【基本方針Ⅱ】 半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実	【目標】 公共交通が中心拠点への来訪手段として利用されます。	【目標値】 中心拠点内へ来訪する際に鉄道・バスを利用する人数の増加	◎	◎	◎	◎	◎
【基本方針Ⅲ】 各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保	【目標】 地区路線が普段のおでかけで利用されます。	【目標値】 公共交通で目的地に行くことができる割合の増加	—	—	○	—	◎
【基本方針Ⅳ】 関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築	【目標】 公共交通への関心や愛着が高まります。	【目標値】 地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数	◎	◎	◎	◎	◎

◎：該当年度に評価を実施
○：必要に応じて該当年度に評価を実施

パブリックコメント実施前（平成30年1月25日時点）

（2）評価における目標値

評価の考え方及び評価・検証スケジュールに基づき、本計画の目標及び目標値を用いて評価を実施します。なお、各バス路線の運行・利用状況の評価にあたっては、運行内容が確定した後、路線ごとの目標値を設定します。

表 目標及び目標値と評価スケジュールの関係性

基本方針	目標	目標値	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
【交通将来像】 「おでかけ環境が充実した住み続けたいまち半田」	【全体目標】 「おでかけ環境が充実した住み続けたいまち半田」の実現	【目標値】 市内の鉄道・バス利用者数の増加	◎	◎	◎	◎	◎
		普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上	—	—	○	—	◎
		【基本方針Ⅰ】 半田市の一体性の強化及び観光資源を回遊できる公共交通ネットワークの再編	【目標】 公共交通が多様な目的で利用されます。	【目標値Ⅰ-1】 普段の生活の中で公共交通利用を利用する人の割合の増加	—	—	○
		【目標値Ⅰ-2】 観光企画切符の販売枚数	◎	◎	◎	◎	◎
【基本方針Ⅱ】 半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実	【目標】 公共交通が中心拠点への来訪手段として利用されます。	【目標値】 中心拠点内へ来訪する際に鉄道・バスを利用する人数の増加	◎	◎	◎	◎	◎
【基本方針Ⅲ】 各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保	【目標】 地区路線が普段のおでかけで利用されます。	【目標値】 公共交通で目的地に行くことができる割合の増加	—	—	○	—	◎
【基本方針Ⅳ】 関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築	【目標】 公共交通への関心や愛着が高まります。	【目標値】 地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数	◎	◎	◎	◎	◎

◎：該当年度に評価を実施
○：必要に応じて該当年度に評価を実施